

# 東京学芸大学探究プロジェクト

## 教科横断プログラム開発ワークショップにて

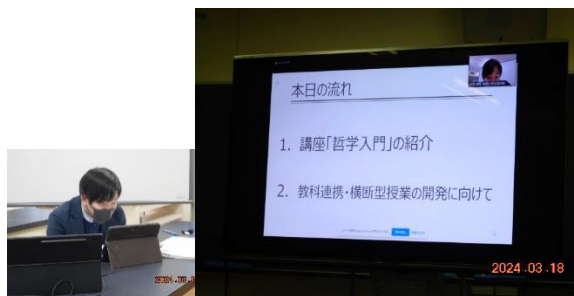
### 「Omura Steam Labo」実施事例を報告

令和6年3月18日（月）17:00～19:00に、「東京学芸大学高校探究プロジェクト 教科横断プログラム開発ワークショップ」がオンラインで開催されました。全国各地から50名程度にご参加いただきました。

今回、大村高校から2名が登壇し、①大村高校の学校設定科目「OMURA STEAM LABO」のプログラムの全体概要、②その中の「哲学入門」の実施事例、をご報告させていただきました。



写真 左： 川久保晃一 教諭 の報告  
（探究 SSH 企画部主任）



右： 小林詳梧 教諭の報告

川久保教諭や小林教諭の報告を基に、

「どのような教科横断型教材の開発を行ってみたいか」

「どのように開発・実践してみたいか」

などの話題設定で、参加者が少人数グループにわかれて、活発な意見交換が行われました。

本校としても、今回の実践で得られた知見や課題を整理するいい機会となりました。「各教科での学びと、Omura Steam Labo や探究での学びとのつながり」、「授業の評価方法（規準・基準）」などを意識して、次年度もアップデートさせていきたいと思えます。

#### ※「東京学芸大学高校探究プロジェクト」

令和4年度から長崎県文理探究科連絡協議会と東京学芸大学とで実施している連携事業。東京学芸大学の先生や県教育委員会、県内の高校の先生方がチームとなって、1年間かけて授業準備を進めていくという協働型の授業づくりで実践。令和5年11月には公共の中の哲学を取り入れた内容で「哲学入門」として授業を行いました。